

# 102-262

## 問題文

前問の「原因となった可能性の高い持参薬」の標的分子として正しいのはどれか。1つ選べ。

1. グルココルチコイド受容体
2. シクロオキシゲナーゼ
3. カルシニューリン
4. ジヒドロ葉酸還元酵素
5. ファルネシルピロリン酸合成酵素

---

## 解答

問262 : 3問263 : 4

## 解説

### 問262

問263 とまとめて解説します。

### 問263

検査所見から、発熱、及び、血球数の減少が見て取れます。

持参薬からはリセドロン酸 → ビスホスホネート系、骨粗しょう症治療薬、プレドニゾロン → ステロイド、メトトレキサート (MTX) → 免疫抑制剤の一種。リウマチか？ 整腸剤 → 消化器系に違和感とか？ という所がまず連想され、MTX + ステロイド ならリウマチだろうなあ、と印象を持つのではないのでしょうか。

血球減少症が代表的副作用である、メトトレキサートが原因である可能性が高いと考えられます。メトトレキサートは葉酸代謝拮抗薬です。免疫抑制剤の一種です。ジヒドロ葉酸還元酵素を阻害します。

以上より、問262 の正解は 3

問263 の正解は 4 です。